

わたしの一日リサーチ（取材して、
じぶんのタイムラインを作る）

（ ）組 なまえ_____

領域・形態・時間	話すこと [やり取り] 3人インタビュー 15～20分
ねらい	What time do you usually get up? / Do you always ...? でおたがいの一日を取材し、そのまま「わたしの一日」発表（単元ゴール）の材料にする。

やり方 この流れでやってみよう

- 1 First, write your own timeline.
まず自分の一日を4つ書く（絵カードから選んでよい。時こくは「だいたい」でOK）
- 2 Ask: What time do you usually get up?
友だちに時こくをたずねる
- 3 Ask more: Do you always eat breakfast?
「いつも？ ときどき？」までたずねる
- 4 React! Really? Me, too! So early!
聞いたら必ずリアクションを返す（メモより先にリアクション）
- 5 Change partners. Three friends!
相手を替えて3人集める

わたしの一日 4つだけ選んで書こう（言いたくない時こくは空けたままでOK）

時こく	すること（英語でも絵でもOK）	どのくらい？（○をつける）
		always ・ usually ・ sometimes ・ never
		always ・ usually ・ sometimes ・ never
		always ・ usually ・ sometimes ・ never
		always ・ usually ・ sometimes ・ never

取材メモ 3人にきいてみよう（メモは日本語・数字でOK）

なまえ	起きる時こく	いつもすること・ときどきすること

インタビューのことば：What time do you usually get up? (ふだん何時に起きる?) / Do you always eat breakfast? (いつも朝ごはんを食べる?) / Really? Me, too! So early! (リアクション) / One more time, please. (もう1回おねがい)

ルール

①時こくは「だいたい」でOK (きっちりでなくていい) ②言いたくないことは「ひみつ」でOK。聞いた人は必ずOK! と受ける ③同じ人に2回取材しない

☆レベルアップ! 「わたしの一日」を First, ... Next, ... Then, ... Finally, ... の4つのことばでつないで言ってみよう。順番のことばが入るだけで、ならべただけの4文が「発表」になる。

先生へ (運用のコツ・中間指導)

- ・5分たったら中間指導：「頻度まで聞けた人？」→ Do you always ...? の聞き方を全体で1回だけ練習→2周目へ
- ・◎第4時は記録なしの時間。メモの量ではなく、やり取りが続いたかを見る
- ・取材の結果を全体共有するときは「6時台に起きる人、手を挙げて」と数で扱う。He gets up at six. と文にさせない (三単現の -s は未習)
- ・このシートは第5～7時の発表でも手元に置く。回収せずに持たせ続けるのが、いちばん効く時数の節約になる

中間指導の進行台本（第6時）

この紙は先生用（1部だけ）：主活動の20分を「1回目 → ことばの補給 → 2回目」のサンドイッチにする先生用の台本。1回目でできなかった質問を、同じ20分のうちに「できた」に変える——時間は1分も足さない。

20分のサンドイッチ 第6時の主活動20分＝一日紹介①を「サンドイッチ」にする

分	やること	先生のうごき
0-7	一日紹介1回目（班で2人発表）	発表→質問タイムの流れ。先生は「質問できずに終わった班」を見つけておく
7-9	あつめる：聞きたかったこと・こまった質問	「日本語でOK」と先に宣言する。発表側と聞く側の両方から集める（3～4個で十分）
9-12	英語にする：下の補給表から黒板へ	近いものを書き写し、全員で2回ずつ声に出す（先生がその場で英語を作らなくてよい）
12-13	自分の質問にもどす	2回目にする質問を1つ決めて、となりに1回言えたら準備完了
13-20	一日紹介2回目（残りの2人）	「補給した質問を1つ使えたら取材名人」。2回目は質問が必ず増える

ことばの補給表 「言いたかった」を、ここから黒板に書き写すだけ

言いたかったこと	こう言える	ひとこと
6時！？はやい！	Six?! Wow!	時こくをくり返せば、おどろきがそのまま伝わる
わたしも同じ時間！	Me, too!	あいづちの王様
いつも？ときどき？	Always? Sometimes?	頻度のことば1語で質問になる——この単元の中身
何時か聞きとれなかった	What time?	質問の頭だけでも、聞き返しになる
ねる時こくも聞きたい	What time do you go to bed?	get up を go to bed に替えるだけ
ほかには？	Anything else?	5年レストランのことば——取材をうながす
（答えに）つまったら	（タイムラインを指して）Seven.	指さし+1語で立派な答え
もう一回・ゆっくり	One more time, please.	Slowly, please. とセットで——ポスターのことば

表にないことばが出たら
「そろばん」「塾」はそのままでもいい——juku で通じる。夜おそい・朝はやいの理由は聞かない（それぞれの家の事情）。むずかしいことばは「日本語+ジェスチャーでOK」と返す。

先生へ（この20分の勘どころ）
・この20分は主活動そのもの——時間は足さない。第7時の一日紹介②も同じ進行（2枚目の「5分たったら」は第4時の話）
・時こくの早い・おそいを笑わない——先生が Six? Wow! と「おどろき」で受ける手本を見せる
・補給は質問側に寄せた——タイムラインの文はもう書いている。会話になるかは Always? と What time? で決まる
・はやい子には記録役や「みんなの起きる時こくで多いのはどれ」を数える係を。先生役は頼まない